



天文資料

2025年 6月号

令和7年度 第3号 (6月号)

令和7年5月25日

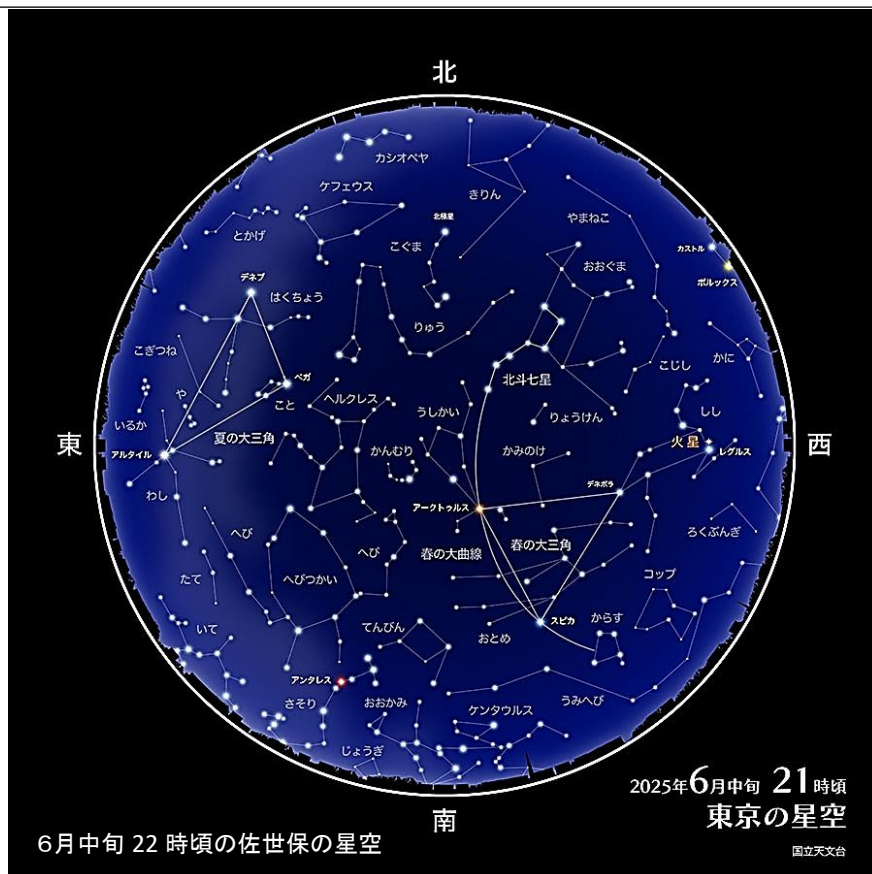
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館

星もらじ

<夏至の頃の星空>

6月21日は、1年で最も夜が短い夏至の日です。6月の終わり頃は、日が暮れるのが最も遅い季節でもあります。空がようやく暗くなった頃、西の空には赤っぽく輝く火星が見えています。空を見渡すと春の星座が西に傾き、東からは夏の星座が顔をのぞかせています。夜半頃になると、東の空から土星が昇ってきます。また未明に空に昇る金星は、明け方にかけて東の空で明るく輝きます。月がこれらの惑星に近づく様子にも注目してみましょう。



1日 金星が西方最大離角

3日 上弦

5日 芒種(太陽黄経75度)

11日 入梅(太陽黄経80度)/満月

19日 下弦

21日 夏至(太陽黄経90度)

25日 新月/木星が合

知っていましたか？

星空情報の説明(月)について

○新月…地球から見て、太陽とほぼ同じ位置にある状態。

明け方に東から昇り、夕暮れに西に沈むので、見る事ができない。

○三日月…新月から3日目に見られる。日没後に西の空に見える。右の一部が光っている。

○上弦…新月から満月の間に見られる半月。左半分が欠け、右半分が光っている。

○満月…地球から見て、太陽と反対の位置にある状態。

夕暮れに東から昇り、明け方に西に沈むので、一晩中見る事ができる。

○下弦…満月から新月の間に見られる半月。右半分が欠け、左半分が光っている。